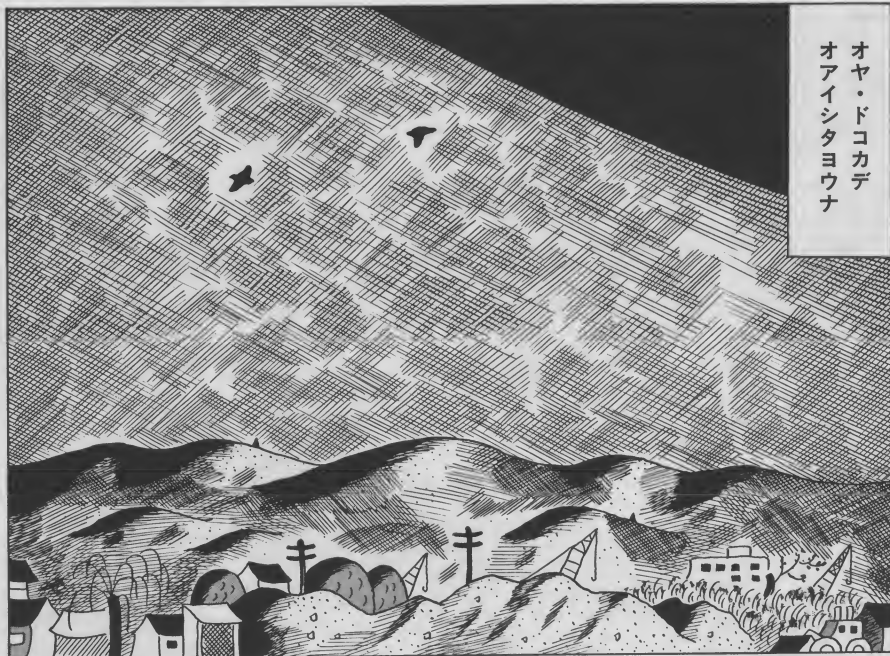
野辺は無く
三橋乙揶

昭和24年8月24日、東京に生まれる。高校中退。デビュー作「ある日若者は旅だった」('65・12月号)。主著「ガリヴァーの宇宙論」「ガリヴァーの生命起源論」。

ハーテ
ドコカデ

カタカタ

ガロの半生は、そのまま僕の青春でした。そして、あれやこれやのガロ的人生は、僕の誇れる夜を共に生き、かつ、今もなお生きています。へこたれないぞ!!

一九七六年十二月・保谷

びゅう

びゅう

おや?

おおい

こんな所で何をしてるんだろう

一本道です

するとこんな所で出会ったのはまったく幸運だった

とくに・こんな夜におろおろと歩いているのはつらいからネ

ところで君は?
漫画少年です

いろいろやりましたが原稿は売れないしこうして万策つきてしまったと云うわけです

ふ～むところで君とはどこかで会った事がある様な気がするが・なにせ

おいらきままだからネ

そりゃ良い事も悪い事もあるわけさ！
苦労してますネ

いやいやおいらのたちさ

ただ・こういう風になったのさ

失礼ですけれど・私にも温かい気持をよせていただけないでしょうか

やあ！おやすいごようです

ほら・これでどうですか植物女さん

良い
です

ここに
こうして私共が
出会ったのも
きっと何かの
記念になり
ましょう
良い
思い出
です

たとえ
つらい事が
あっても
それは時間の
領分です
から
きっと

忘れる時も
来るでしょう
……

……
いい夜と
なりましたネ

びゅう

びゅう
さて
おいら

そろそろ
行く事に
しよう

それでは
僕は
南多摩へ
帰って
みみずく
にでも
なって暮す
事に
します

今日の日を
いつまでも
忘れる事は
ないでしょう

おたっしゃで……
それでは
ごきげんよう

さようなら

さようなら
……

びゅう
……
そろそろですネ
ええ寒くなります
ギッ
……
……
ギシ
ギシ
……

ギン